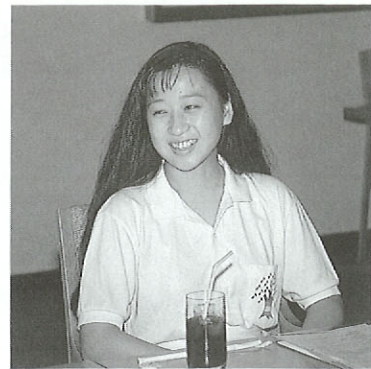




戸澤 栄二氏

- ・山鹿市出身、在住。35歳
- ・山鹿青年会議所本年度理事長
- ・八千代座玉三郎公演実行委員長



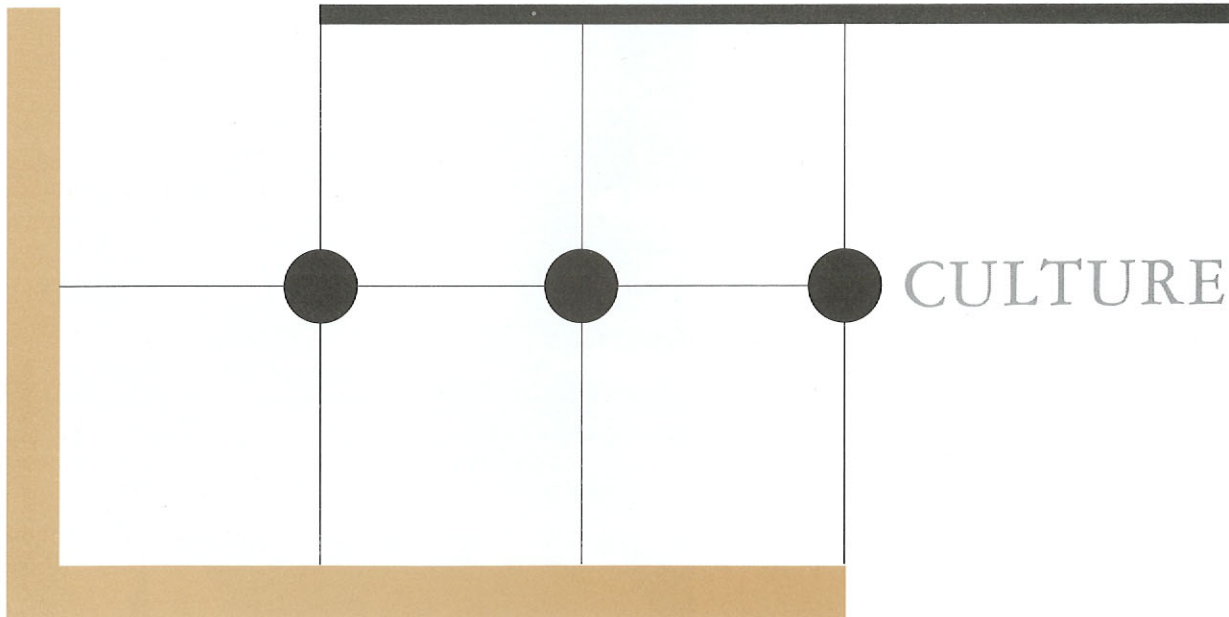
猪本 桃子氏

- ・熊本市出身、東京都在住。22歳
- ・東京外国語大学大学院生で、アジアユースオーケストラのバイオリニスト。AYO設立当初唯一の県出身メンバー。



浅尾 義男氏

- ・阿蘇郡久木野村出身。在住。
- ・阿蘇で活躍しているアマチュアバンドのサークル「阿蘇サウンドネットワーク」の代表。県民文化祭阿蘇の「サウンド・イン・阿蘇」を担当。



戸澤 自己紹介をお願いします。
 山鹿青年会議所の本年度理事長の戸澤です。坂東玉三郎公演実行委員会の委員長も兼ねて、今取り組んでいます。昨年は、県・市はじめ、そうした官民一体となった運動ということで、ご支援いただきました。今年は、もう一歩公演以外の部分の充実も含めてやっていきたいと考えています。

猪本 猪本桃子(いのち)です。東京外国語大学の大学院で日本語教授法を勉強しています。去年からアジアユースオーケストラ(以下AYOと略)に入っています。今年が第二回でしたが、第一回というのは集まって演奏できたということだけで認められたようなところがありました。今後はそういうわけにはいかなので、演奏そのものをかなり磨いていかなければと思っています。

浅尾 三年くらい前に「阿蘇サウンドネットワーク」という組織を作りました。アマチュアの音楽家たちを集めて、阿蘇というところで、いろんなこと、催し物をやってみようじゃないかと。今、五バンド、四十五人から五十人くらいいます。その代表を務めております浅尾と申します。

今年の県民文化祭阿蘇でアマチュア音楽の祭典「サウンド・イン・阿蘇」を担当してみないかという話があります。今その準備をやっています。



文化の秋、芸術の秋……。この時期、熊本県でも毎年各地域持ち回りの「県民文化祭」が開催されるなど、心も実る季節です。

心豊かに過ごしたいと願う私たちにとって大切な「文化」。その定義も、活動内容も幅広く、なかなかとらえにくいものではあります。秋の一日、あなたも文化について考えてみませんか。

今回の対談は、松村敏人副知事を囲んで、熊本発の文化です。

